

戦争か平和か、子どもたちに何を手渡しますか？！

2月8日投票日です。投票に行きましょう！

高市首相は衆議院の解散を行い、1月27日公示、2月8日投票で選挙が行われます。

何の結果も出ていないこの時期の解散に「解散する理由、大義名分が見当たらない」

「今、自分の支持率が高いから解散したい、というのが見え見え。」

「党利党略ですらなく私利私略だ」

「一番困っている地方への言及も少なく、雪や受験シーズンの選挙という問題もある中で、本当に国民のことを考えているのか疑問だ」そんな声が多く聞かれます。

女性総理の誕生、「さな活」と呼ばれる個人の愛用品への興味やSNSで流行、政治家として、何をしたいのか、しようとしているのか、よくわからないまま、選挙を行ってしまおうとしているように見えます。

年明け早々、世界を大きく揺るがせたのが、米国によるベネズエラへの武力攻撃。

ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ侵略と同じで、だれが見てもおかしい侵略行為です。それに対し、何も言わない？言えない？日本の高市政権は、アメリカと対等平等の関係なのでしょうか？さらに、イスラエルの武器も購入、アメリカ製の型落ちの武器を相手の言い値で購入し、日本の防衛予算は財源の検討もないまま、爆上がりです。

高市首相は日本をどうしようとしているのでしょうか。

かつて日本も、資源確保や勢力圏拡大を目指した侵略戦争を行いました。その反省を経て、日本国憲法ができました。その時中学校の教材としてつくられた「新しい憲法のはなし」(1947)には、こう書かれていました。

よその国とあらそいことがおこったとき、けっしてせんそうによって、相手をまかして、じぶんのいいぶんをとおそうとしないということをきめたのです。おだやかにそうだんをして、きまりをつけようというのです。なぜならば、いくさをしかけることは、けっきょく、じぶんの国をほろぼすようなはめになるからです。また、せんそうとまでゆかずとも、国の力で、相手をおどすようなことは、いっさいしないことにきめたのです。これを「せんそうのほうき」というのです。そうしてよその国となかよくして、世界中の国が、よい友だちになってくれるようにすれば、日本の国は、さかえてゆけるのです。

みなさん、あのおそろしい戦争が、二度とおこらないように、また戦争を二度とおこさないようにいたしましょう。

私たち保育園で働くものは「たたかれたら、たたき返せばいい」「痛い思いしないとわからない」と子どもたちに、向き合うことは決してありません。その子の思いの背景を探りながら、「思っていることを話してごらん、きっとわかってもらえるよ。」と人と人がつながる働きかけをしています。

いま世界や日本で起こっている、自国ファースト、自国の利益しか考えない、他者を差別し、排除する考え方、「保育」とは相いりません。

子どもたちにどんな未来を手渡していくのか。

年間のまとめや次年度の準備、バタバタと忙しい時期ですが、雰囲気に流されることなく、どんな政策を出しているのか、どんな国を目指しているのか、よく見極めて、棄権はせずに、大切な一票を投じていくことを呼びかけます。